

平成14年度リンゴ関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成14年度リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成15年2月3日(月)にホテルメトロポリタン盛岡において開催された。

この検討会には、試験場関係者36名、委託関係者27名ほか、計67名の参集を得て、除草剤

3薬剤(33点)、生育調節剤12薬剤(80点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成14年度 リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除 草 剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ℓ>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. AH-01 液剤 新規化合物 10.5%	リンゴ	作用性 新 規	植調研究所 (1)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ; 300, 400, 500, 750mL <100~150L> ; 茎葉処理 (1)バスタ液剤 500mL<100~150L>	継	継) ・成分未公開 ・効果の確認
		適用性 新 規	青森りんご試県南 秋田果試 長野果試 (3)	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ; 300, 500mL<100~150L> ; 茎葉処理 (3)バスタ液剤 300mL<100~150L>		
		適用性 新 規	青森りんご試県南 秋田果試 長野果試 (3)	[多年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ; 500, 750mL<100~150L> ; 茎葉処理 (3)バスタ液剤 500mL<100~150L>		
[明治製菓]						

A. 除 草 剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草；ねらい] 処理時期 ；薬量g・ml<水量ℓ>/a ；処理方法等	判 定	内 容
2. MON-001 液剤 グリホサートカリウム塩 52% [日産化学工業]	リンゴ	適用性 継 続	弘前大学 広島県立大学 青森りんご試験南 宮城園試 福島植防 長野果試 (6)	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ；250ml<25, 50(専用ノズル), 100L >, 500ml<50L(専用ノズル)> ；茎葉処理 対)三共の草枯らし 250ml<25L(専用ノズル)>	実・ 継	実) [リンゴ：雑草全般(スギナ を除く)] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下) ・一年生雑草対象； 250～500ml/10a 多年生雑草対象； 500～1000ml/10a <25～50L/10a(専用ノズル使 用), 50～100L/10a> ・茎葉処理 継) ・効果の確認 ・薬害試験
		適用性 継 続	弘前大学 広島県立大学 北海道中央農試 宮城園試 福島植防 長野果試 (6)	[多年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ；500ml<25, 50(専用ノズル), 100L >, 1000ml<50L(専用ノズル)> ；茎葉処理 対)三共の草枯らし 500ml<50L(専用ノズル)>		
		薬 害 新 規	岩手農研 宮城園試 (2)	[薬害試験] 春期→夏期 ；4000ml→4000ml<50L> ；土壌処理(2回処理) 夏期 ；10000ml<50L> ；土壌処理(1回処理) 春期→夏期 ；1000ml→1000ml<50L> ；樹幹処理(2回処理)		
3. ZK-122 液剤 グリホサートカリウム塩 43% [シジエンジャパン]	リンゴ	適用性 継 続	広島県立大学 岩手農研 福島植防 石川農総試 栃木農試 (5)	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ；250ml<25, 50L(専用ノズル)>, 500ml<50L(専用ノズル)> ；茎葉処理 対)ラウンドアップハイロード 液剤 250ml<50L(専用ノズル)>	実	実) [リンゴ：雑草全般(スギナ を除く)] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下) ・一年生雑草対象； 250～500ml/10a 多年生雑草対象； 500～1000ml/10a <25～50L/10a(専用ノズル使 用)> ・茎葉処理
		適用性 継 続	北海道中央農試 岩手農研 福島植防 石川農総試 栃木農試 (5)	[多年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ；500ml<25, 50L(専用ノズル)>, 1000ml<50L(専用ノズル)> ；茎葉処理 対)ラウンドアップハイロード 液剤 500ml<50L(専用ノズル)>		
		薬 害 継 続	岩手農研 富山農技果試 (2)	[薬害試験] 春期→夏期→秋期 ；4000ml→4000ml→4000ml <25L(専用ノズル)> ；土壌処理(3回処理) 春期または夏期 ；10000ml<25L(専用ノズル)> ；土壌処理(1回処理) 春期→夏期 ；2000ml→2000ml <25L(専用ノズル)> ；樹幹処理(2回処理)		

B. 生育調節剤

薬剂名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ℓ>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. AKD-857 液剤 MCPB17# 3% [アグロネショウ]	リンゴ (ふじ)	適用性 継 続	青森りんご試 秋田果試 山形園試 長野果試 長野南信農試 (5)	[摘花] ①中心花開花始めから2~3日後 (人工受粉後) ; 2000, 3000倍(展着剤無加用) ②中心花開花始めから4~5日後 (人工受粉後) ; 2000, 3000倍(展着剤無加用) ; 立木全面散布または枝別散布 対)石灰硫黄合剤 100倍	実・ 継	実) [リンゴ(ふじ): 腋芽花の 摘花] ・ 中心花満開から3~5日後 ・ 2000~3000倍 ・ 立木全面散布 (注) 人工受粉を確実に行う。 継) ・ 処理時期と効果の確認
2. AKD-8086 水和剤 キネキサン系 12.5% MEP 25%	リンゴ (ふじ)	適用性 継 続	青森りんご試 秋田果試鹿角 山形園試 長野果試 長野南信農試 (5)	[摘葉] ①収穫40日前 ②収穫45日前 ③収穫50日前 ; 500倍(展着剤無加用) ④収穫45日前 ; 500倍(展着剤加用) ; 立木全面散布または枝別散布 対)ジョウカン-ふじ 500倍	実・ 継	実) [リンゴ(ふじ): 摘葉] ・ 収穫40~50日前 ・ 500倍(展着剤加用可能) ・ 立木全面散布 継) ・ 効果の確認(気象条件、樹勢 等) ・ 果実品質への影響について
	リンゴ (つがる)	適用性 継 続	青森りんご試 山形園試 長野果試 長野南信農試 (4)	[摘葉] 収穫30日前 ; 1000, 1500倍(展着剤無加用), 1500倍(展着剤加用) ; 立木全面散布または枝別散布 参考)ジョウカン-ふじ 1000倍	実・ 継	実) [リンゴ(つがる): 摘葉] ・ 収穫30日前 ・ 1000~1500倍(1500倍は展着 剤加用可能) ・ 立木全面散布 継) ・ 効果の確認(気象条件、樹勢 等) ・ 果実品質への影響について ・ 後期落果への影響について
	リンゴ (ジョウカン- ゴールド)	適用性 継 続	岩手大学 青森りんご試 岩手農研 秋田果試 長野南信農試 (5)	[摘葉] ①収穫30日前 ; 500, 1000倍(展着剤無加用) ②収穫40日前 ; 500, 1000倍(展着剤無加用) ③収穫50日前 ; 500, 1000倍(展着剤無加用) 参考)ジョウカン-ふじ 500倍	実・ 継	実) [リンゴ(ジョウカン- ゴールド): 摘 葉] ・ 収穫40~50日前 ・ 500倍 ・ 立木全面散布 継) ・ 効果の確認(気象条件、樹勢 等) ・ 果実品質への影響について ・ 展着剤加用での効果の確認
3. CS-11H 水溶剤 イソコン酸 95% [白石加沙ム]	リンゴ	適用性 継 続	青森りんご試 岩手農研 秋田果試 長野果試 (4)	[摘花] 頂芽中心花満開2日後→その2~ 3日後 ; 200倍→200倍, 300倍→300倍, 400倍→400倍 ; 枝別散布 対)石灰硫黄合剤 100倍(2回処理)	実・ 継	実) [リンゴ(ふじ): 摘花] ・ 頂芽中心花満開2日後及びそ の2~3日後 ・ 200倍 ・ 立木全面散布 継) ・ 低濃度での効果の確認 ・ 品種と効果の確認 ・ 薬害の確認
4. CS-12F 水溶剤 炭酸加沙ム 80% その他(水溶性加沙 ム) 20% [白石加沙ム]	リンゴ (つがる)	適用性 新 規	岩手大学 岩手農研 秋田果試 長野南信農試 (4)	[果皮障害軽減、生理障害軽減] 落花10日後から7~10日間隔で5 回散布 ; 200倍 ; 枝別散布	継	継) ・ 効果の確認

B. 生育調節剤 つづき

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ℓ>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
5. GP-011 液剤 GA ₃ 1% n-Propyl dihydro jasmonate (PDJ) 1% [GP研究会(事;日本 ゼオン)]	リンゴ (ふじ)	適用性 継 続	富山農技果試 長野果試 長野南信農試 (3)	[果実の肥大促進] ①摘果後(生理落果後)1回散布 ; 400倍 ②摘果後(生理落果後)→その2 ~3週間後 2回散布 ; 400倍→400倍 ; 樹別(枝別)全面散布 対)GA ₃ 25ppm 摘果後 1回散布	継 続)	・処理時期と効果の確認
6. KC-1129 水溶剤 蟻酸カルシウム 98.3% [晃栄化学工業]	リンゴ	適用性 継 続	青森りんご試 岩手農研 秋田果試 山形園試 福島果試 石川農総試 栃木農試 長野果試 長野南信農試 (9)	[摘花] 満開時→その2~3日後 ; 100, 150倍(展着剤無加用) ; 立木全面散布または枝別散布 対)石灰硫黄合剤	実 ・ 継	実) [リンゴ(ふじ、つがる、 ジョジョ-ルト): 摘花] ・満開日 追加散布を要する場合は2~3 日後に1回 ・100倍 ・立木全面散布 継) ・処理濃度と葉害の検討 ・散布時期と効果の確認
7. PDJ 液剤 n-Propyl dihydro jasmonate 5% [日本ゼオン]	リンゴ (ふじ)	適用性 継 続	富山農技果試 長野果試 (2)	[果実の着色促進] ①収穫30日前 ; 100, 500倍(展着剤無加用) ②収穫20日前 ; 100, 500倍(展着剤無加用), 500倍(展着剤加用)	継 続)	・効果の確認
8. RIC-12 水溶剤 クエン酸、リンゴ酸カルシウム	リンゴ (ふじ)	適用性 継 続	秋田果試 長野南信農試 (2)	[枇、ビタービットの予防] ①5月中下旬→7月中下旬→9月 中下旬(3回散布); 各1000倍 (非イソ系展着剤加用) ②5月中下旬→6月中下旬→7月 中下旬→8月中下旬→9月中下 旬(5回散布); 各1000倍(非イ ソ系展着剤加用) ③6月中下旬→7月中下旬→8月 中下旬→9月中下旬(4回散布) ; 各500倍(非イソ系展着剤加 用)	継 続)	・効果の確認
	リンゴ (つがる)	適用性 継 続	岩手農研 長野果試 (2)	[油あがり、枇、ビタービットの予 防] ①6月中旬→7月上旬→7月中下 旬→8月中下旬(4回散布); 各 500倍 ②5月中旬→6月上旬→6月中旬 →7月上旬→7月中下旬→8月 中下旬(5回散布); 各1000倍	継 続)	・効果の確認
	リンゴ (王林)	適用性 継 続	岩手大学 青森りんご試 (2)	[枇、ビタービットの予防] ①5月中下旬→7月中下旬→9月 中下旬(3回散布); 各1000倍 (非イソ系展着剤加用) ②5月中下旬→6月中下旬→7月 中下旬→8月中下旬→9月中下 旬(5回散布); 各1000倍(非イ ソ系展着剤加用) ③6月中下旬→7月中下旬→8月 中下旬→9月中下旬(4回散布) ; 各500倍(非イソ系展着剤加 用)	継 続)	・効果の確認
[ロイヤルダストリーズ]						

B. 生育調節剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ℓ>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
9. AF-1 水溶剤 1-メチルピコロニウム 0.14% [アグロフレッシュ(ローマ ・アンド・ハスジャハン)]	リンゴ	適用性 新 規 (H12)	青森りんご試 長野果試 (2)	[収穫果実の過熟、生理的劣化 抑制] 収穫後 ; 1000ppb (2.24mg/m ³) ; 果実を密閉容器に入れ、12~ 24時間暴露	実・ 継	実) [リンゴ: 収穫果実の貯蔵 性向上] ・ 収穫後24時間以内 ・ 1000ppb (2.24mg/m ³) ・ 水に入れて発生する気体に密 閉条件で12~24時間暴露 継) ・ 処理時期と効果の確認 ・ 果実品質への影響について
		適用性 継 続 (H13)	岩手大学 青森りんご試 長野果試 (3)			
		作用性 継 続 (H14)	弘前大学 (1)			
		適用性 継 続 (H14)	岩手大学 青森りんご試 青森りんご試県南 岩手農研 長野果試 長野南信農試 (6)			
10. FKP-6145 液剤 窒素全量 0.2% 水溶性加里 0.2% 水溶性苦土 4.0% 水溶性マンガ 0.25% 水溶性鈣素 0.7% [サンイ化学]	リンゴ (王林)	適用性 新 規 (H13)	岩手農研	[果実の品質向上(着色促進、ピ タービット防止)] 収穫6, 5, 4週間前の3回散布 ; 1000, 500倍液 ; 立木全面散布	継	継) ・ 効果の確認
11. ジクロルピロップ 液剤 ジクロルピロップ 4.5% [日産化学工業]	リンゴ	適用性 継 続 (自主)	青森りんご試(3) 岩手農研(1) 秋田果試(1) 山形園試(4) 福島果試(1) 群馬園試(2) 長野果試(4)	[収穫前落果防止] 収穫開始予定日の15~25日前 ; 1000, (1500)倍 ; 立木全面散布	実	実) [リンゴ: 収穫前落果防 止] ・ 収穫開始予定日の25~15日前 1~2回散布, 2回散布の場合は 25日前及び15日前 ・ 1000~1500倍 <300~600L/10a> ・ 立木全面散布 注) 散布により軟化が起る 場合があるので、後期落果 の少ない品種には使用しな い。 展着剤は加用しない。
12. NAC 水和剤 NAC 85%	リンゴ	適用性 継 続 (自主)	長野果試(4)	[摘果] 満開2~3週間後 ; 1200倍 ; 樹別散布	実	実) [リンゴ(ジャズライト、ジャゴ-ル ド): 摘果] ・ 満開2~3週間後 1200倍 散布